取扱説明書

Bearmax

ワンセグチューナー内蔵 3.5 型 液晶テレビ

ディ・ティ・ブイ
商品型番：DTV-3501

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全のために ---------- 2/3
付属品を確かめる ---------- 4
主な仕様 ---------- 5
各部のなまえ ---------- 6/7
リモコンの電源を準備/交換する ---------- 7
充電する／電源入切をする ---------- 8
テレビを観る ---------- 9
その他のメニュー設定 ---------- 10/11
外部アンテナを使う ---------- 12
付属のスタンドを使う ---------- 13
イヤホンで楽しむ ---------- 13
故障かな？と思ったら ---------- 14
使用上のご注意 ---------- 15
保証とアフターサービス ---------- 16

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

⊘ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

警告

禁止
交流100V以外の電圧では使用しない
付属のACアダプタは、自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

プラグを抜く
コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止
電源コードを傷つけない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止
分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

水ぬれ禁止
水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

禁止
歩行中や運転中は使用しない
交通事故の原因となります。

禁止
風呂・シャワー室で使わない
漏電によって感電や発火の原因となります。

禁止
内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因になります。

ぬれ手禁止
ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないこと。感電の恐れがあります。

指示
電源プラグは根元まで確実に差し込む
差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

禁止
雷が鳴ったら屋外で使わない
落雷のおそれがあります。

指示
点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因になります。

注意

禁止
放熱を妨げない
内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。背面の放熱孔をふさがないようご注意ください。

禁止
ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下しケガ・故障の原因になります。

禁止
温度の異常に高い場所で使用しない
また、通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

禁止
調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

プラグを抜く
電源コードをコン セントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

禁止
画面が破損し、液体がもれた場合は、液体を吸い込んだり飲んだりしない
中毒を起こす恐れがあります。
万が一、口や目に入った場合は、水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
手や服に付いてしまった場合は、アルコールなので拭き取り、水洗いしてください。

指示
移動するときは接続しているコードをすべて外す
コードが傷付き、火災・感電の原因になります。

指示
ACアダプタと電源コードは付属のものを使用すること
指定以外のACアダプタ、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。

指示
日本国内のみ使用
この製品が使用できるのは日本国内のみです。海外では放送形式・電圧が異なりますので、使用できません。

禁止
直射日光や熱気を避ける
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。
・窓を閉め切った自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

禁止
低温になる場所に放置しない
キャビネットの変形や故障の原因となります。

禁止
電磁波妨害に注意
本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害により映像が乱れたり、雑音が発生する場合があります。

付属品を確かめる

箱を開封したら、最初に付属品がそろっているか確認してください。

※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

主な仕様

電源：	充電池；内蔵リチウムポリマー電池 充電用ACアダプタ；AC100V 50/60Hz, DC5V 600mA
消費電力：	1W
実用最大出力：	1W
受信周波数：	473~767MHz
画面サイズ：	3.5 型ワイドTFT液晶パネル
入力端子：	アンテナ接続端子 電源入力端子
出力端子：	イヤホン出力端子
解像度：	320×240RGB
輝度：	300cd
コントラスト比：	350:1
充電時間（約）：	ACアダプタ使用時；2.5時間、USBケーブル使用時；2.8時間
再生時間（約）：	2時間
最大外形寸法　(約)：	110×69×14mm（アンテナ突起部分含まず）
質量(約)：	112g
付属品	AC/DCアダプタ、マグネット付外部アンテナ、イヤホン、イヤホン用スポンジ、スタンドストラップ、USBケーブル、携帯用ポーチ、取扱説明書（本誌）、カンタン説明書

※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

●ワンセグは東京・大阪・名古屋の3大都市圏をはじめとした地域で2006年4月1日から開始されました。
●ワンセグおよびサービスエリアの詳細については、以下のホームページ、もしくはコールセンターにてご確認ください。
社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）　http://www/dpa.or.jp/
総務省地デジコールセンター　0570-07-0101

ご注意！

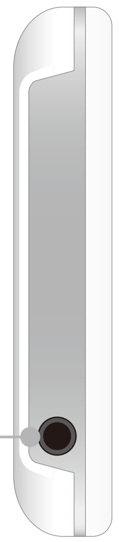
・放送局の局番号は地域ごとに異なります。他の地域でお使いの際は、再度放送局の登録を行ってください。
・ワンセグのサービスエリア以外では、ワンセグの視聴はできません。
また、放送エリア内であっても、地形や構造物などの周囲環境、本機を置く場所や向き、電波の伝播状況によっては受信できない場合があります。
・2011 年 7 月以降、アナログ方法が終了しデジタル放送へ移行後も本商品はお使いいただけます。

各部のなまえ/本体

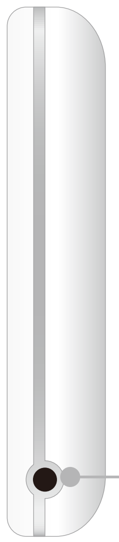
天面

前面

左側面



右側面



背面

リセット穴の使い方

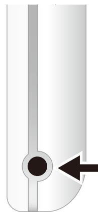
使用中にどのボタンを押しても操作ができなくなったときに、強制的に電源を切ります。
①先が尖った棒で【リセット穴】を10秒程度押します。
②数分後に【電源】ボタンを長押しし、電源を入れます。

充電する／電源を入切する

充電するには

本機は充電電池が内蔵されています。ご使用になる前に付属のアダプタを使用し、必ず2.5時間以上充電してください。

①付属のアダプタ端子を本体左面の【アダプタ入力端子】に接続します。
（USBケーブルがアダプタに接続された状態で梱包されています。）
②アダプタをコンセントに差します。
③自動的に電源が入り“Bearmax”マークが表示されます。
【電源】ボタンを3秒間長押しして、電源を切ります。充電を始めます。



アダプタ入力端子
【本体左面】

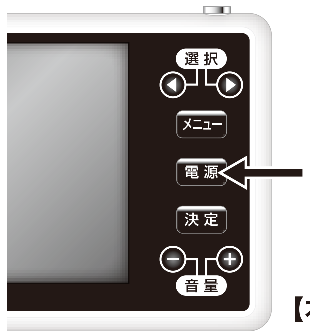
●電池残量を確認するには
アダプタを外してから電源を入れ、
【決定】ボタンを押します。
画面右上に電池残量が表示されます。

注意！
※充電中のご使用はおやめください。
※充電中の表示はありません。

電源を入切するには

●電源を入れるには
本体前面の【電源】ボタンを4秒間長押しします。

●電源を切るには
【電源】ボタンを3秒間長押しします。



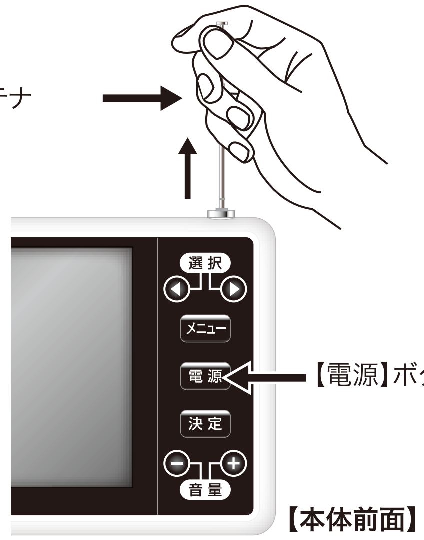
【電源】ボタン
【本体前面】

注意！
※“Bearmax”マークの表示中に電源ボタンを押しても電源は切れません。
テレビモードになってから【電源】ボタンを押してください。
※【電源】ボタンの入切は4秒間長押しをしてください。軽く押しただけでは動作しません。
※電源を切ったあと再度電源を入れるまで、約10秒間時間をあけてください。

テレビを観る

テレビを観るには

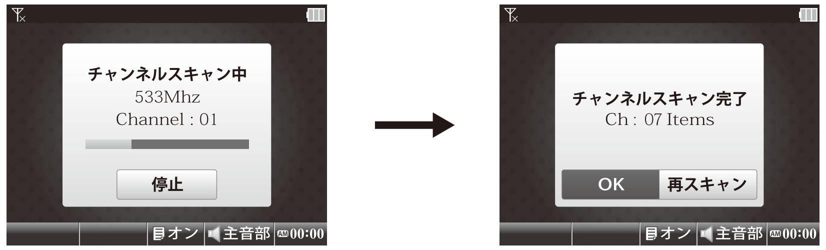
ご使用になる前に充分に充電されているかご確認ください。
①本体のアンテナをいっぱいに引き伸し、受信感度が良い方向に向けます。



アンテナ
【電源】ボタン
【本体前面】

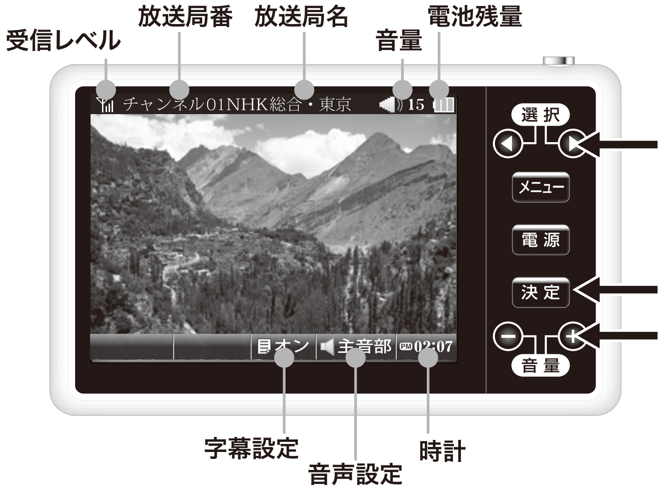
②【電源】ボタンを4秒間長押しして、電源を入れます。（8ページ）
“Bearmax”マークが表示されたあと、「エリアリスト」が表示されます。
「全域」が選択された状態で【決定】ボタンを押します。
受信を始めます。

③「チャンネルスキャン中」が表示されます。（受信感度により多少時間がかかる場合があります。）
受信が完了すると「チャンネルスキャン完了」が表示されます。【選択◀】ボタンで「OK」を選択し、【決定】ボタンを押します。



④「チャンネルリスト」が表示されます。【選択◀／▶】ボタンで観たい放送局を選択し、【決定】ボタンを押します。
「ロード中」が表示されたあと、テレビモードに変わります。
（うまく受信できない場合は、12ページをご参照ください。）

<テレビ画面例> 【決定】ボタンを押すと下図が表示されます。

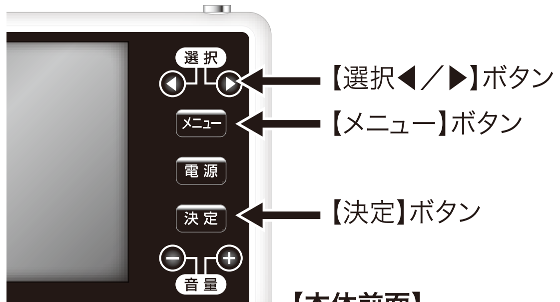


【選択◀／▶】：他のテレビ局に切り替わります。
【決定】：現在の放送局の設定を表示します。
【音量ー／+】：音量を調節します。

その他のメニュー設定

各メニューを設定するには

①本体前面の【メニュー】ボタンを押します。
②【選択◀／▶】ボタンをで設定メニューを選択します。
③【決定】ボタンを押すと確定します。
④メニュー表示が2ページある場合は、
【選択▶】ボタンを押すと、2ページ目に移動します。
⑤メニュー表示中に【メニュー】ボタンを長押しすると、
テレビモードに戻ります。



【本体前面】

設定メニュー画面

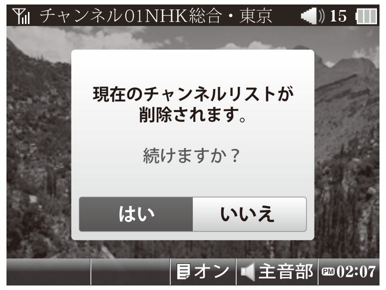
1. チャンネルリスト

①「チャンネルリスト」を選択し、【決定】ボタンを押します。
チャンネルリストを表示します。

②【選択◀／▶】ボタンで観たい放送局を選択し、
【決定】ボタンを押します。
テレビモードに変わります。

2. チャンネル更新

①「チャンネル更新」を選択し、【決定】ボタンを押します。
【選択◀】ボタンを押して、「はい」を選択し、
【決定】ボタンを押します。



②受信を始めます。
（受信感度により多少時間がかかる場合があります。）

③【選択◀】ボタンで「OK」を選択し、
【決定】ボタンを押します。

④番組リストが表示されます。
【選択◀／▶】ボタンで観たい放送局を選択し、
【決定】ボタンを押します。
テレビモードに変わります。

3. エリア

お住まいの地域で放映しているチャンネルリストから
放送局の選択ができます。
①「エリア」を選択し、【決定】ボタンを押します。
エリアリストが表示されます。
【選択◀／▶】ボタンでお住まいの地域を選択し、
【決定】ボタンを押します。

<地域リスト／1ページ>

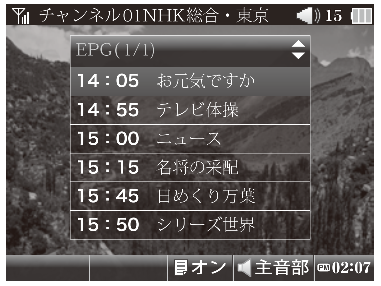
<2ページ>

②【選択◀／▶】ボタンでお住まいの都道府県を選択し、
【決定】ボタンを押します。

③チャンネルリストが表示されます。
【選択◀／▶】ボタンで観たい放送局を選択し、
【決定】ボタンを押します。
選択した放送局を放映します。

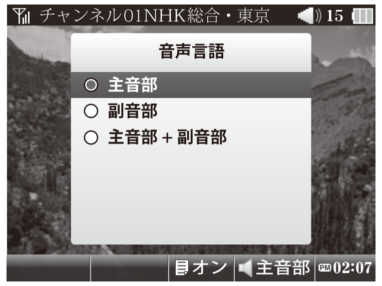
4. 番組表

現在視聴している放送局で予定されている
番組の確認ができます。



5. 音声言語

主音声／副音声を切り換えます。
「主音部」：主音声を聞きます。
「副音部」：副音声を聞きます。
「主音部+副音部」：主音声と副音声を
同時に聞きます。



6. 字幕

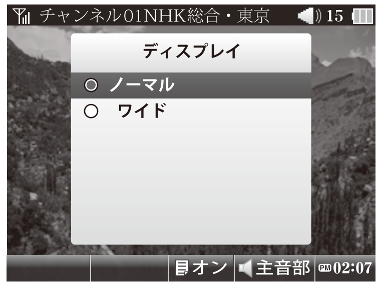
字幕表示のあり／なしを切り換えます。
「オン」：字幕を表示します。
「オフ」：字幕を表示しません。

7. 画面明るさ

液晶画面をお好みの明るさに調節します。
①【選択◀／▶】ボタンで、明るさを
－5から＋5まで調節できます。

8. ディスプレイ

画面の比率を変えて表示します。
「ノーマル」：4：3で表示します。
「ワイド」：16：9で表示します。



9. リセット

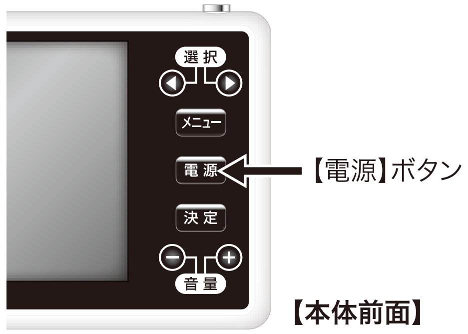
工場出荷時の設定に戻ります。
【選択◀】ボタンで「はい」を選択し、
【決定】ボタンを押します。

外部アンテナを使う

室内でテレビをご覧になるときに付属の外部アンテナをお使いいただけます。
①外部アンテナを外部アンテナ端子に接続します。**カチッと音がするまでしっかりと差込んでください。**

②外部アンテナのコードを伸ばし、
アンテナを受信感度が良いところに置きます。

③【電源】ボタンを4秒間長押しします。
放送局の受信を始めます。
（放送局の確認方法は9ページをご参照ください。）

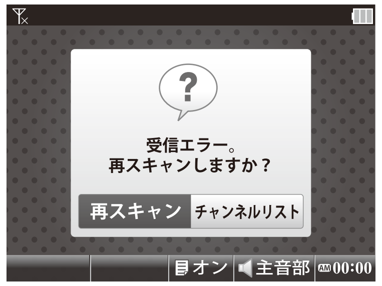


【本体前面】

注意！
※外部アンテナ使用中は、本体のアンテナを収納してください。両方使用しても受信感度は変わりません。
※アンテナの端子はカチッと音がするまで奥までしっかりと差込んでください。

受信状態が悪くなったとき

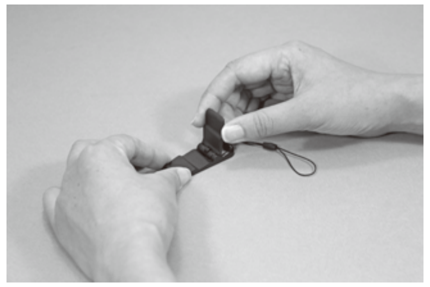
視聴中、受信状態が悪くなると次の画面が表示されます。アンテナの向き、位置を変えて再度「チャンネル更新」（10ページ）を行ってください。



チャンネル更新をしてもまだ「再スキャン」が表示される場合は、再度別の場所へ移動してアンテナの位置を変更し、「チャネル更新」を行ってください。

付属のスタンドを使う

本体を固定してご覧いただけます。
付属の携帯用ポーチに付いているスタンドを開き、本体をのせます。

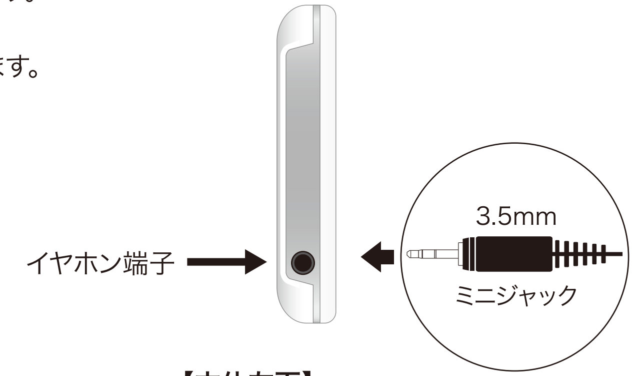


イヤホンで楽しむ

付属のイヤホンを接続して音声を楽しむことができます。

付属のイヤホンを、本機の【イヤホン端子】に接続します。

※お手持ちのイヤホン/ヘッドホンも接続できます。
　ご使用の際は、3.5mmミニジャックの入力端子を
　お使いください。



【本体左面】

輸入・総発売にご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

症　状	対処方法
電源が入らない	・電池の残量がなくなっている可能性があります。手順に従って充電してください。(8ページ) **・電源ボタンは必ず4秒以上"長押し"してください(軽く押しただけでは電源は入りません)。** ・電源を切ったあと再度電源を入れるまで、約10秒間時間をあけてください。
音が聞こえない	・イヤホンが挿入されていないか確認してください。 ・音量＋プラスボタンを押して、音量を大きくしてください。
音がひずむ	・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
ワンセグの映像が映らない	・電波が弱いとコマ落ちしたり急に暗くなったりすることがあります。 ・内蔵アンテナの長さ、方向を調節してください。 ・外部アンテナを金属板など、磁石が付くところに設置してください。 ・屋内で使用している場合、鉄筋造りのビルなどでは電波が受信しにくくなります。 窓際や屋上など電波を受信しやすいところでお使いください。 ・地上デジタルが受信できる環境にあるかご確認ください。 ・電波塔が近くにあると、電波塔から発信される電波の影響を受ける場合があります。
付属の外部アンテナが接続できない	**・アンテナはカチッと音がするまで端子を奥までしっかりと差込んでください。**
どのボタンを押しても操作ができない	・先が尖った棒で本体裏面にある【リセット穴】を10秒程度押します。 強制的に電源を切ります。

お手入れの際は安全のため電源を切ってください。

液晶画面について
・本機のメニュー画面などの静止画を液晶画面に表示したまま長時間放置しないいでください。液晶画面に残像現象（画像の焼き付き）を起こす場合があります。
・液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。

AC/DCアダプタについて
・付属のAC/DCアダプタをご使用ください。付属以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。
・AC/DCアダプタをご使用時は、以下の点にご注意ください。
＊AC/DCアダプタは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかに電源コンセントから抜いてください。
＊AC/DCアダプタを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
＊火災や感電の危険を避けるために、AC/DCアダプタを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC/DCアダプタの上に花瓶など水が入った物を置かないでください。
・電源コンセントを抜くときは、必ずAC/DCアダプタの本体部を持って抜いてください。
・本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

温度上昇について
本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

イヤホンについて
・イヤホンをご使用中肌に合わないと感じときは、早めに使用を中止して医師にご相談ください。
・イヤホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて回りの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしましがちですが、イヤホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

取り扱いについて
・落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
・次のような場所には置かないでください。
＊温度が非常に高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）。
＊直射日光のあたる場所や暖房機器の近く。
＊窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
＊風呂場など、湿気の多い所。
＊ほこりの多い所。
・本機の内部に液体や異物を入れないでください。
・本機は防水仕様ではありません。濡れた手で触ったり、水がかからないようにご注意ください。内部に水が入ると、故障の原因となります。
・液晶画面に物をのせたり落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
・本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶画面に結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
液晶画面が冷えきっているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。結露が生じたときは結露が無くなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。跡がついたり、変色などの原因となります。
・キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
・本機に、異物が入ったり、静電気がとばないように十分注意してご使用ください。故障の原因になる場合があります。

お手入れについて
汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水やぬるま湯に浸した布をよく絞り拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使用しないでください。